南三陸町の概要と被害

⑴新生活運動（昭和22年～昭和39年）

昭和22年6月、発足間もない片山内閣は新日本建設運動を提唱した。各地にさまざまな反響を呼んだ。

宮城県は、昭和23年から予算が計上され、生活改善・合理化運動として進められた。

昭和30年「宮城県新生活建設協議会（昭和37年新生活運動協議会と改称）」発足。

⑵新県民生活運動（昭和40年～平成3年）

昭和40年、社会教育の一環として進められてきた運動を「全県民にとって必要であり、誰もが参加できる運動」として推進することを提唱。県下の各種団体を網羅した「宮城県新県民生活運動協議会」を新たに発足し、従来の組織を発展的に解消。

昭和42年、74全市町村に協議会組織。

⑶すばらしいみやぎを創る運動（平成４年～現在）

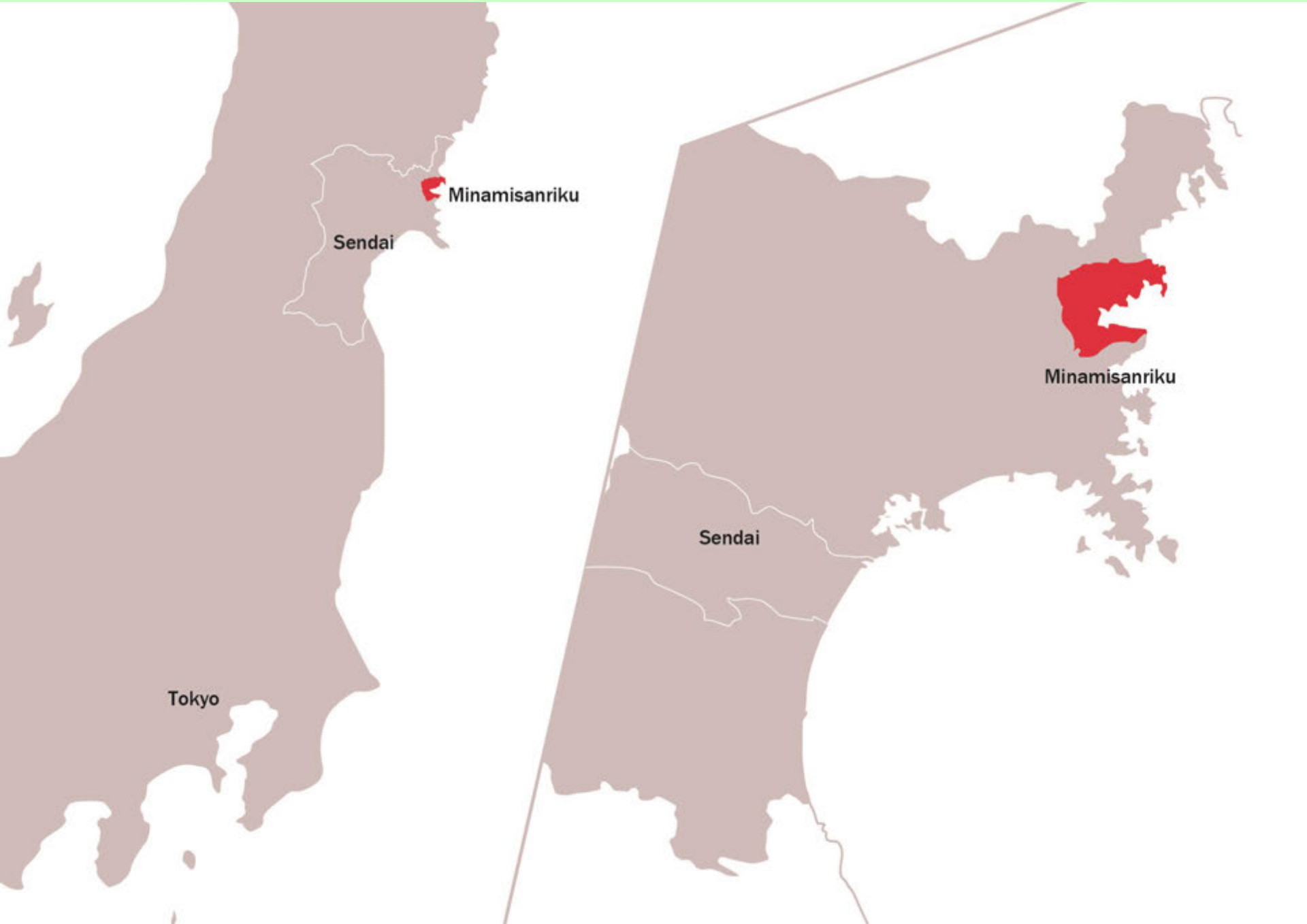
協議会発足から20数年が経過し、大きく変化した社会情勢に対応した運動の内容に変更した。

「生活改善・合理化」運動から「豊かな地域づくりをめざす住民運動」に移行。

- 地域づくりは、公的行為（行政）と私的な行為（県民の生活）の中間領域の存在が不可欠。

- 新しい運動の基本的考え方を「活力のある個性的で心豊かな地域社会を創造する運動」とした。平成４年名称を「すばらしいみやぎを創る協議会」に決定した。

- ４つの運動の柱
  ①安全で安心なまちを創る運動
  ②心の通い合う地域を創る運動
  ③美しい生活環境を創る運動
  ④地域文化を大切にする運動


Minamisanriku
Sendai
Tokyo
Minamisanriku
Sendai

南三陸町の概要

地勢

・宮城県北東部、本吉郡南部に位置。

・南三陸金華山国定公園の一角にある。

・面積
163.74平方km

・東西、南北約18kmの範囲

・北上山地の支脈の東南にあり、東は海に開き、志津川湾を抱える馬蹄形の地形。

・気候は海流の影響で夏は涼しく、冬は雪が少なく、比較的温暖。

・志津川、歌津、戸倉、入谷の4地区。

■統計

	人口	世帯数	行政区
志津川	8294	2730	31
歌津	5181	1434	17
戸倉	2433	682	16
入谷	1907	519	10
全体	17815人	5365世帯	74区

本籍を置いている人口　25101人
高齢化率（65歳以上）　29.3%（全国平均22.7%)

H21年(2009)の数値（南三陸町統計書平成22年度版）

■沿革

明治28年(1895)　本吉村が志津川町と改称。

昭和30年（1955)　志津川町、入谷村、戸倉村が合併して、志津川町となる。

平成17年（2005）　志津川町と歌津町が合併して、南三陸町となる。(10月）

■本吉郡は、平泉（岩手県）の藤原清衡が奥州に強い勢力をもった平安時代、大量の金を産出したため、藤原氏と密接に関係し、平泉黄金文化反映の重要な役割を担った。

■文治5年（1189年）、源頼朝の遠征で藤原氏の支配が終わり、鎌倉武士の所領に。

■南北朝時代、牡鹿地方や岩手県南地方とともに、葛西氏の所領になった。

■天正18年(1590年）、葛西氏は豊臣秀吉に滅ぼされ、一旦、木村氏が治めるが、謀反が続いたため、翌年伊達政宗が鎮圧。270年にわたり、伊達氏が統治。

■江戸時代、入谷地域は伊達藩養蚕発祥の地として栄え、明治後半には養蚕業が発展した。

■昭和初期になると養蚕業に変わり水産業が盛んになり、漁業の町としての基礎が形成された。

震災前これまでの震災の履歴

■869（貞観11）年5月26日	三陸沖M8.6 多賀城下：死者1000人余り
■1611（慶長16）年10月28日	三陸沖M8.1 伊達領内：死者1783人
■1793（寛政5)年1月7日	三陸沖M7.1 大船渡で波高9尺、死者1213人
■1847（弘化4）年7月17日	本吉、気仙等津波：死者335人
■1896（明治29）年6月15日	三陸沖M7.6 綾里で浸水高38.2m、死者21959人
■1933(昭和8）年3月3日	三陸沖M8.3 綾里で浸水高25.0m、死者3008人
■1960（昭和35）年5月24日	チリ沖M8.5 三陸で波高5.6m、死者119人
■2011（平成23）年3月11日	三陸沖M9.0

三陸沖だけでなく南米沖を震源とする津波を合わせ、10～20年に1回は津波の記録があり、50年に1回程度は多数の死者が出るなど大きな被害を受けてきた。

震災前　　里山

田束山より歌津崎を望む　2011年5月25日小野寺寛さん撮影

震災前　　海

南三陸町ホームページ
http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/modules/photos/index.php
南三陸町観光協会
http://www.m-kankou.jp/

歌津岬

魚竜館

ウタツザウルス

震災前　　街並み

歌津　伊里前　航空写真　1997

2011.3.11

14:46

3月11日15:32　南三陸町歌津伊里前　阿部正さん撮影

3月11日15:37 南三陸町歌津伊里前阿部正さん撮影

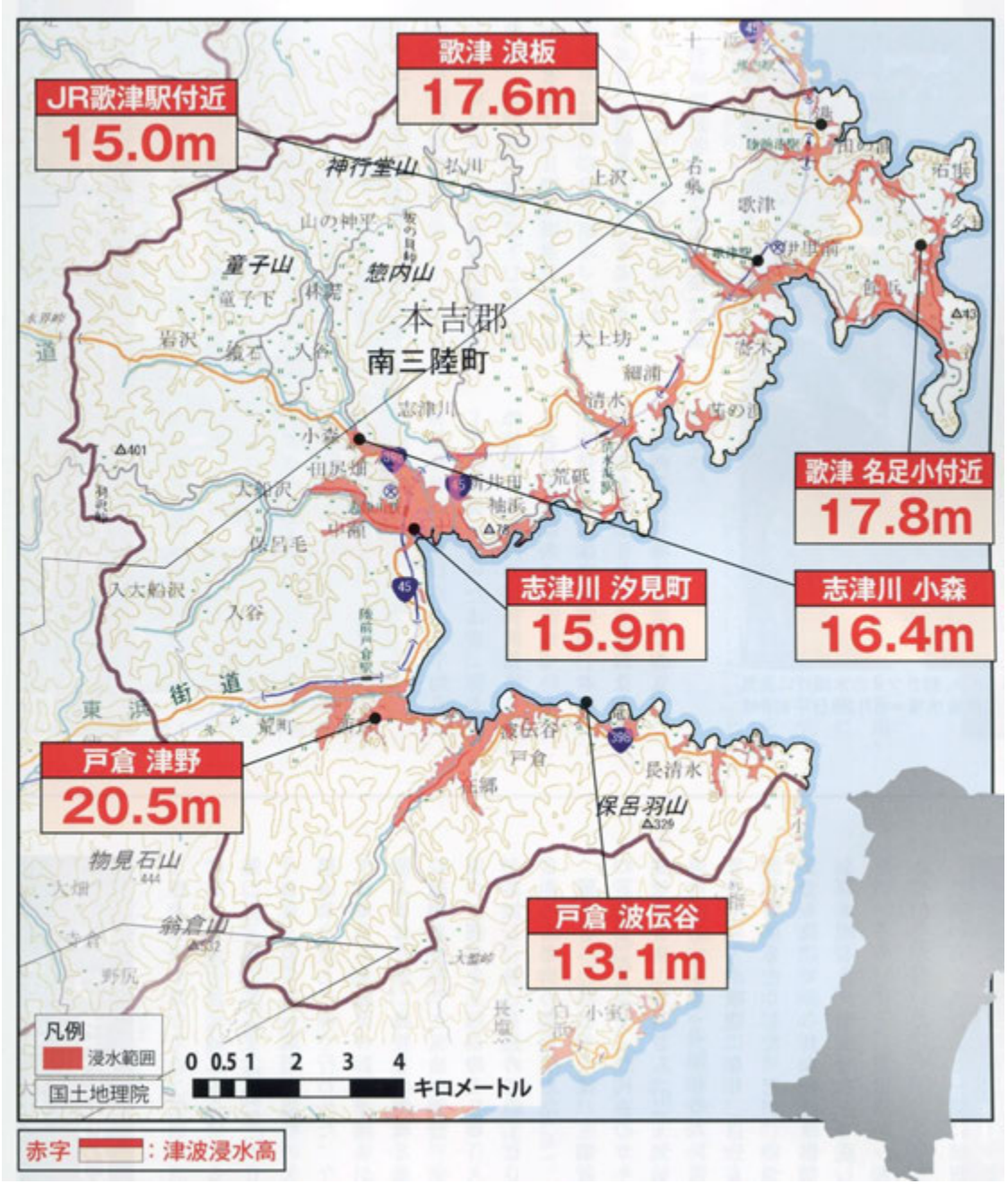
3月11日15:40　南三陸町歌津伊里前　阿部正さん撮影

3月11日15:53　南三陸町歌津伊里前　阿部正さん撮影

歌津伊里前

『東日本大震災全記録』河北新報社

『東日本大震災全記録』河北新報社



『東日本大震災全記録』河北新報社

南三陸町被害状況

人的被害		津波被害			避難者
死者	611 人	津波浸水面積　10平方キロ 住宅地・市街地面積の52% 浸水範囲内人口推計　1万4389人			○3月14日ピーク時 9000人以上 ○6月末現在 町内　23カ所　2412人 町外　55カ所　1225人
行方不明者	231 人				
被害住宅	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	
戸倉地区	501戸	11戸	9戸	132戸	
志津川地区	1985戸	44戸	28戸	437戸	
入谷地区	6戸	6戸	0戸	245戸	
歌津地区	669戸	31戸	22戸	366戸	
計	3161戸	92戸	59戸	1180戸	

仮設住宅（7月3日）	
○建設必要戸数	2230戸
○着工戸数（含予定）	2230戸
○完成戸数	1332戸

数値は原則6月末現在。仮設住宅は7月6日現在宮城県まとめ。津波浸水面積は国土地理院資料。人口推計は総務省統計局資料

『東日本大震災全記録』河北新報社より　一部改変

平成23年5月18日撮影
国土地理院
Geospatial Information Authority of Jap

志津川

平成23年5月25日撮影
国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

歌津　伊里前

9月6日歌津伊里前阿部正さん撮影

8月31日歌津寄木阿部正さん撮影

定例会の様子

会報 一燈
仮設住宅建設はじまる
歌津地区死者47名 行方不明者66名
天皇皇后両陛下 歌津をご訪問
民有地に約200戸 仮設住宅建設はじまる
縄文浜辺の里づくり スタート!!
3・11 新しいふるさとづくり
641世帯分応急仮設住宅 歌津地区内16カ所に完成!!
復興まちづくりと 集団移転
人と人をつなぐ
内閣府公益認定等 委員会、委員来訪
新年のごあいさつ
ふれあいバスツアー実施
集団移転説明会開催
待望のワカメ収穫始まる
あれから一年
三鎮神社に神輿 奉進される
高台移転特集
合同運動会盛大に開催される
防災教育に取組む歌津中学校
まちづくりワークショップを開催
敬老の日を祝う

毎月発行の会報「一燈」

小・中・高校生や一般の方々320名による津波体験・新しいまちづくり作文集「未来への遺言」が完成し、発刊。

宝塚市民との交流会の場で講演

南三陸町 防災集団移転促進事業計画
総 括 図

平成の森仮設住宅　憩いの場『あづまーれ』

塩害を受けたスギで作ったテーブルとベンチを囲んで談笑する仮設住宅の入居者たち＝９月、宮城県南三陸町

一燈サロン　　とんぼ製作

布草履プロジェクト
～アフリカの子どもたちに布草履をとどけよう～

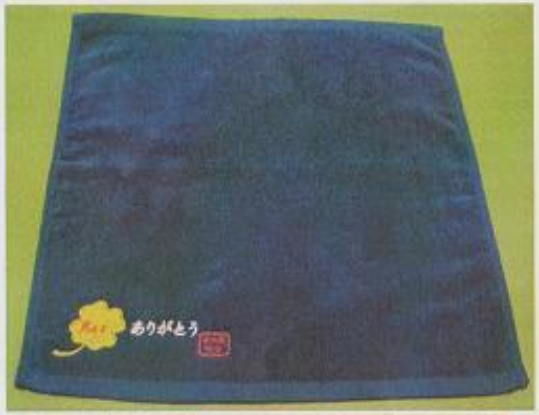
かおりキャンドル講習会

グッズ商品 （1）

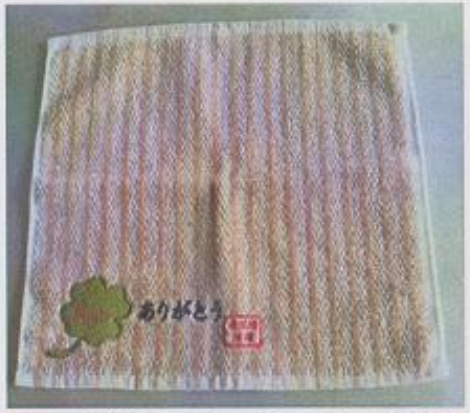
絆Tシャツ　1，500円　　うたちゃんTシャツ　1，000円
帽　子　　1，500円

グッズ商品 （2）

タオル（白）90cm×34cm　一枚　1,200円

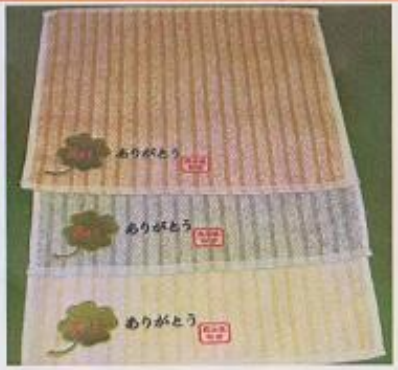


ハンドタオル（青）　34cm×36cm　一枚　900円



ミニハンドタオル　23cm×23cm　一枚　600円

タオルセット（5枚入り）　3,900円



ミニハンドタオル
ブラウン，グリーン，ナチュラル

グッズ商品 （3）

とんぼブローチ　500円　ストラップ　500円

布ぞうり　1，500円

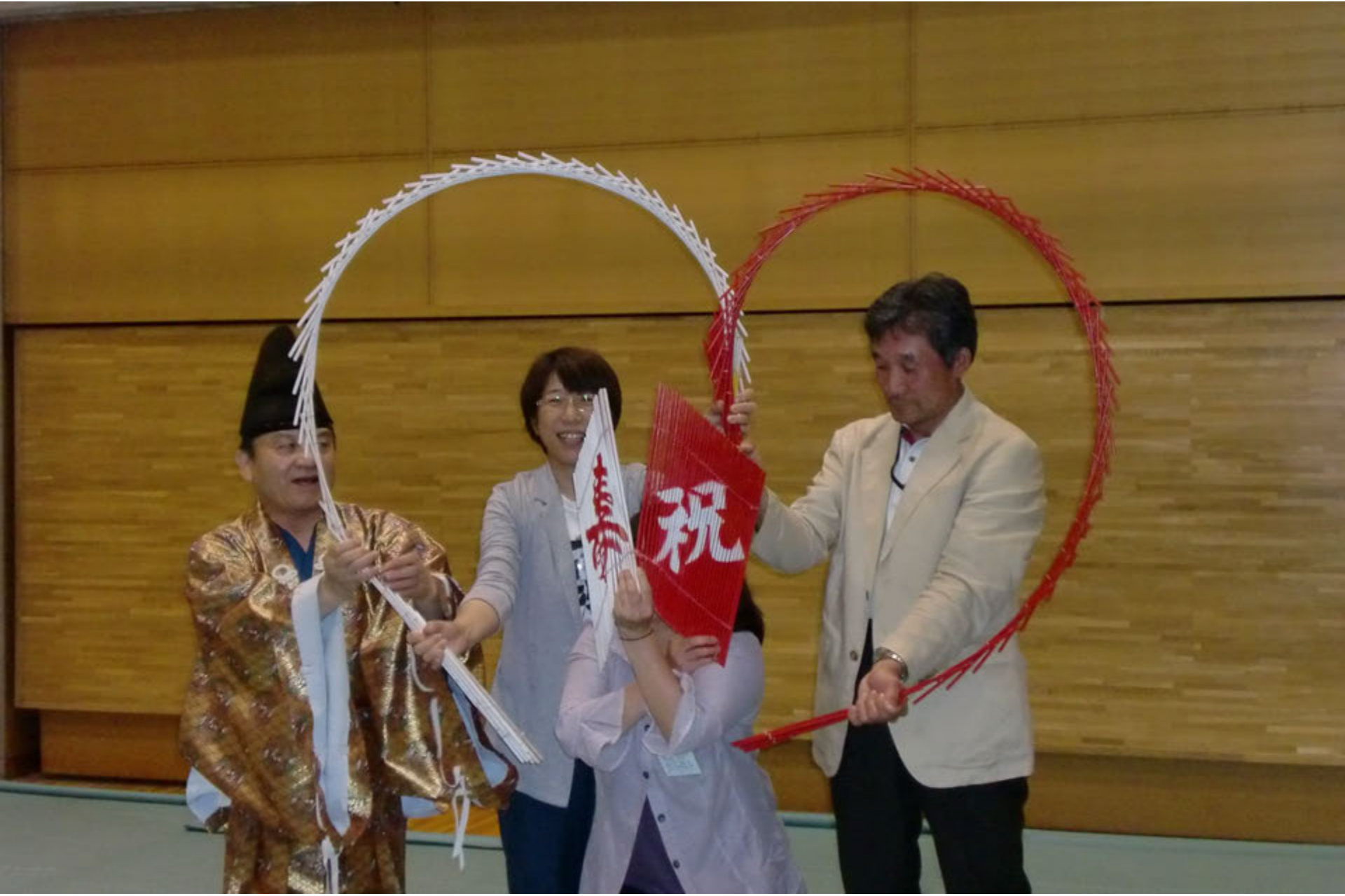
かおりキャンドル

伊里前福幸商店街

物産交流

桐生八木節祭

川口新郷工業団地協同組合「ばんばん祭」

南三陸直売所 『みなさん館』

宝塚希望応援隊来訪における交流会（H24.6.9)

滋賀県立大学『いきいき健康交流ひろば』 H25.2.24

兵庫県立大学ワカメ収穫ボランティア　H25.3.5

大牟田竹燈籠「鎮魂の夕べ」 H25.3.10~12

仮設住宅に来る移動販売車

伊里前福幸商店街 「移動バス銀行」

伊里前・名足小学校スクールバス

復興「寺子屋」

パソコン教室（吉野沢仮設住宅集会所）

パソコン教室（歌津中学校）

名足地区災害公営住宅造成工事

名足地区災害公営住宅造成工事

韮の浜・寄木地区防災集団移転地造成工事

Sea Wall T.P. 8.7m Oritate(Togura)

防潮堤の高さ（伊里前）